

平安時代貿易管理制度史の研究

渡 邊 誠 著

▶A5判・390頁／定価 7,350円(税5%込) ISBN978-4-7842-1612-3

2012年2月刊行予定

九世紀以降、日本の対外交易は朝鮮半島・中國大陸から来航する海外の商人(海商)によって担われてきた。従来、平安時代の貿易に対する国家の関与は、内外の交易者と対立的に捉えられることが多かった。しかし、人びとの活動を即座に国家権力と対峙させる理解は今や再考を迫られている。本書は海商の貿易活動を国家が管理する「制度」を中心にすえて、その消長を明らかにすることで、新たな貿易史像を呈示する。

※ 内 容 目 次 ※

序 論

研究の現状と本書の課題／本書の構成

第1章 承和・貞観期の貿易政策と大宰府

新羅商人の活動と大宰府の貿易管理／藤原衛起請と承和九年官符／貞観海賊事件と大宰府

第2章 文室宮田麻呂の「謀反」

宮田麻呂の債権取立をめぐる国際情勢／対策会議における公卿の意見とその意味／宮田麻呂謀反事件の展開過程からみた事件の真相

第3章 藤原元利万侶と新羅の「通謀」

大宰少貳補任前後の政治情勢と元利万侶の立場／新羅通謀事件の真相

第4章 律令国家の対外交易制度とその変容

日本律令国家の対外交易制度／海商による対外交易と国家

第5章 管理貿易下の取引形態と唐物使

貿易手続きの実例——十世紀末、曾令文の場合——／文書からみた貿易手続き／唐物使の役割とその変容

第6章 平安期の貿易決済をめぐる陸奥と大宰府

綿から金への貿易代価の転換／陸奥国の産金と「受領官」鎮守府將軍体制／十一世紀の貿易決済と大宰府

第7章 年紀制と中国海商

年紀の年数／年紀制下の海商の活動

第8章 年紀制の消長と唐人来着定

年紀制の運用と唐人来着定／年紀制の制定目的／年紀制の終焉

第9章 十二世紀の日宋貿易と山門・八幡・院御廐

延暦寺梶井門跡の動向／石清水八幡宮の動向／院御廐(後院)の動向

第10章 大宰府の「唐坊」と地名の「トウボウ」

「唐坊」の新史料／山口県の「トウボウ」地名／日宋貿易像と海商の来航地——服部英雄氏の所論にふれて——

終 章 鴻臚館の盛衰

迎賓館としての客館／海商の来航と鴻臚館／鴻臚館から博多津唐房へ

索 引

わたなべ・まこと……1977年、岡山県井原市生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。日本学術振興会特別研究員(PD)、広島大学特別研究員を経て、現在 広島県信用組合60年史編纂専門委員・福山大学非常勤講師。

思 文 閣 出 版

〒605-0089 京都市東山区元町3 5 5 TEL.075-751-1781 FAX.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp/ e-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行 : 思 文 閣 出 版		(京 都 取 引 コ ー ド 3 4 0 2)	
冊 数	冊	平安時代貿易管理制度史の研究		本体7,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1612-3
お 名 前			tel		
			e-mail		
ご 住 所	〒				
送本方法	☐ 書店経由(このちらしを最寄りの書店にお渡し下さい) ☐ 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)		書店番線印		

日本古代商業史の研究

中村修也著

思文閣史学叢書

人間の生活は商人による多様な交易によって支えられ営まれている。本書では、これらの商人や市に関わる人々の存在形態を、交易の発生から出雲・平城京・平安京などにおける都市空間の生活の場で解析し、日本古代における商人と商業の実態を明かす。

▶A5判・432頁／定価 7,560円

ISBN4-7842-1268-X

日中親族構造の比較研究

官文娜著

思文閣史学叢書

日中親族集団の構造を手がかりとして、日本が中国の親族文化、特に宗族制度を受容しなかった理由、またともに「アジア文化圏」に属する両国の、近代以降における西洋異文化との衝突の原因と融合の条件を探る。

▶A5判・430頁／定価 7,560円

ISBN4-7842-1241-8

仁明朝史の研究 承和転換期とその周辺

角田文衛監修／(財)古代学協会編

(財)古代学協会にて行われた平安時代をテーマとした共同研究の最新成果。王朝文化の先駆けを成す重要な転換期である仁明天皇(在位833～858年)の時代の歴史的意義を、文献史学・考古学・美術史などから多角的に解き明かし、日本国内のみならず東アジア世界の動向とも関連づける。

▶A5判・350頁／定価 7,350円

ISBN978-4-7842-1547-8

奈良朝人物列伝 『続日本紀』薨卒伝の検討

林陸朗著

『続日本紀』収録の全54名の薨卒伝(王臣・僧侶等の死没後に出る略伝的な記事)をとりあげ、現代語訳・訓読・原文・語句解説・考察で構成。特色ある54名の生き様から、権謀満卷く奈良朝政治の裏側を見る。【掲載人物】道昭和尚／行基和尚／光明皇后／藤原仲麻呂／坂上犬養／吉備真備／藤原百川／石上宅嗣／大伴家持／藤原乙牟漏 他

▶A5判・468頁／定価 7,350円

ISBN978-4-7842-1517-1

兵範記人名索引

兵範記輪読会編(代表 杉橋隆夫)

1980(昭和55)年の輪読会発足より蓄積された研究成果を人名索引として集成。(増補)史料大成本を底本とし、男子の部と女子の部の2部構成よりなり、人名項目のもとに掲出年月日と原文表記を掲げ、原本の情報を盛り込んだ、古代・中世史研究者必携の一書。

【内容】男子部／女子部／あとがき

▶A5判・484頁／定価 9,450円

ISBN978-4-7842-1358-0

撰関時代文化史研究

関口力著

思文閣史学叢書

藤原道長の時代を中心に取り上げ、古記録・日記類をもとにして撰関時代全盛期に生きた人物、彼らをはぐくんできた社会について考察。政権を掌握した体制派、それに対する反体制派、そうした官人群とは一線を画した非体制派の人物群という基本的な人間類型を示すことにより、あくまで人間が主人公である歴史の在り方について追求する。

▶A5判・488頁／定価 9,450円

ISBN978-4-7842-1344-3

※日本古代宮廷社会の研究

瀧浪貞子著

思文閣史学叢書

先入観を極力排し、奈良・平安時代を連続して考察することにより、光明子立后論の盲点を衝き、学問的に忌避されがちな孝謙女帝の復権を果すなど創見に富む著者初の論文集。

【内容】Ⅰ皇位と皇統／Ⅱ場の政治学／Ⅲ宮都の構造／Ⅳ律令課役論断章

▶A5判・640頁／定価 12,390円

ISBN4-7842-0677-9

東アジアのなかの日本

上田正昭著

折口民俗学を継承する著者の昨今の論文や講演録などを選んで収録。日本列島の歴史や文化の実像をよりあざやかにするために、海を媒介とするアジアとのかかわり、とりわけ東アジアとの関係を重要なテーマとしてきた著者がまとめた一書。【内容】東アジアのなかの京都盆地／嵯峨野と秦氏／鎮守の森と南方熊楠／和歌のこころ 他

▶46判・376頁／定価 2,520円

ISBN978-4-7842-1479-2

日本古代養鷹の研究

秋吉正博著

律令国家体制の成立・展開期における養鷹の実態を究明して、放鷹文化の構造を解明。東アジアの国際情勢と照応しながら体制の内外を絶え間なく横断し展開する養鷹の社会的諸結合に現れた、朝鮮半島系と中国系という二極の放鷹文化の伝統意識を動態的に捉えることにより、単なる遊興の道具ではない放鷹文化の展開を明らかにする意欲作。

▶A5判・280頁／定価 6,825円

ISBN4-7842-1181-0

東京国立博物館古典籍叢刊
九条家本 延喜式(既刊1冊)

東京国立博物館所蔵の国宝「九条家本延喜式」を、紙背文書も含めて写真版で影印出版。F Mスクリーンによる高精細印刷で、朱書きがある箇所は二色刷にし、第五巻には九条家本延喜式の解説と紙背文書全文の翻刻を付す。紙背は横長で掲載し、できるだけ一文書を一頁で見られるように工夫したものである。

▶第一巻 A5判・450頁／定価 15,750円

ISBN978-4-7842-1535-5

禁裏・公家文庫研究 第一～三輯

田島公編

勅封で全容が不明であった東山御文庫本を中心に、近世の禁裏文庫所蔵の写本、公家の諸文庫所蔵本に関する論考・史料紹介などを収録。

▶第一輯 B5判・390頁／定価 10,290円

ISBN4-7842-1143-8

第二輯 B5判・406頁／定価 10,290円

ISBN4-7842-1293-0

第三輯 B5判・496頁／定価 12,390円

ISBN978-4-7842-1414-3

安祥寺資財帳

京都大学史料叢書⑪

京都大学文学部日本史研究室編／中町美香子・鎌田元一編集・解説
安祥寺は平安時代に入唐僧・恵運が開山した真言系の密教寺院。本資財帳は、恵運が貞観9年(867)に自ら勘録したもので、建立の経緯、貞観9年段階での規模、資財などが記されており、巻首から巻尾まで備わった貴重な9世紀の資財帳史料の一つ。現存の諸本の祖にあたる京都大学蔵本(旧観智院蔵本)を影印で収録。釈文と解説を付す。

▶A5判・176頁／定価 5,775円

ISBN978-4-7842-1516-4

後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著

本書は、後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応＝政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図したものである。

▶A5判・328頁／定価 6,300円

ISBN978-4-7842-1536-2

日本古代即位儀礼史の研究

加茂正典著

思文閣史学叢書

本書は大嘗祭はもちろん、剣璽渡御儀礼・即位式といった広義の即位儀礼をとりあげることにより、桓武・平城朝における即位儀礼の儀式的意味と歴史的意義を明らかにする。さらに資料篇として古代即位儀礼史料年表、新嘗祭・大嘗祭関係文獻目録(昭和20年～平成10年)を収録し、巻末には索引を付す。

▶A5判・480頁／定価 9,030円

ISBN4-7842-0995-6

歴史のなかの天皇陵

高木博志・山田邦和編

【好評2刷】

近年、学会の要請をうけて限定公開され、社会的にも大きな関心を集めている陵墓。各時代に陵墓がどうあり、社会のなかでどのように変遷してきたのか、考古・古代・中世・近世・近代における陵墓の歴史をやさしく説く。京都アスニーで行われた公開講演に加え、研究者・ジャーナリストによるコラムや執筆による座談会も収録。

▶A5判・340頁／定価 2,625円

ISBN978-4-7842-1514-0

※古代日本の輝き

上田正昭著

日本の歴史と文化を支えている「古代的精神・古代の要素」とはなにかー広くアジア史をも視野に入れて折口民俗学を継承する著者が喜寿の節目にまとめた一書。【内容】北ツ海文化の再検討／『風土記』の伝承／モノの歴史学からヒトの歴史学へ／石門心学の再発見／古代芸能の形成／現代に生きる朝鮮通信史 他

▶46判・300頁／定価 1,785円

ISBN4-7842-1167-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。